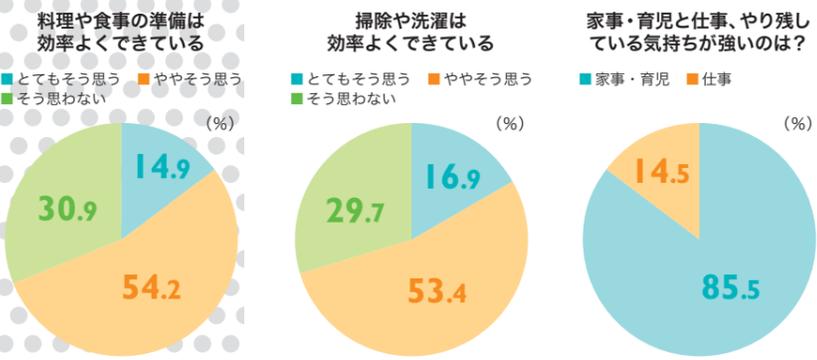
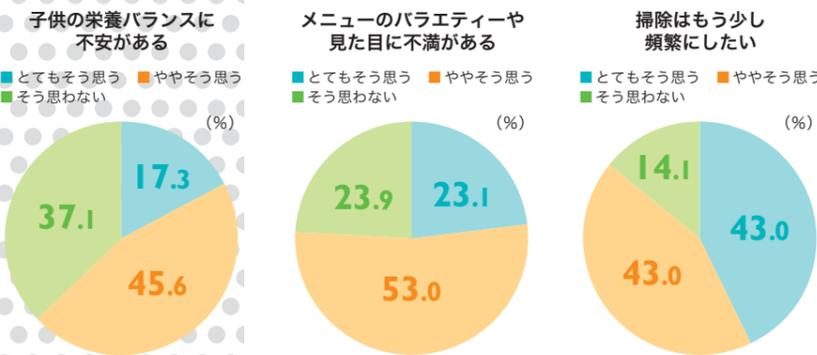


# きちんとやりたい、でも時短もしたい 2 大家事は 夕食作り、部屋の掃除

時短勤務を選択しているママでも、お迎え・帰宅後の家事は慌ただしい。  
毎日の家事について調査したところ、揺れるママの気持ちが見えてきた。



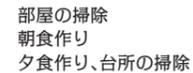
## 家事の“やり残し感”はどこに？



## もっと“きちんとやりたい家事” Best 3



2位



3位

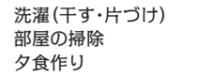


※複数回答

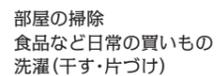
## もっと“時短したい家事” Best 3



2位



3位



## 7割が家事を効率よくこなしていると自信

家事についての意識を聞いたところ、料理や食事の準備、洗濯・掃除は7割前後が効率よくできていると回答。その一方で、「家事・育児、仕事、やり残している感があるのはどちら？」と、あえて2択で選んでもらったところ、85.5%が「家事・育児にやり残している感がある」と答えた。効率よく家事をこなしていると自信はあるものの、その内容に不満があるようだ。

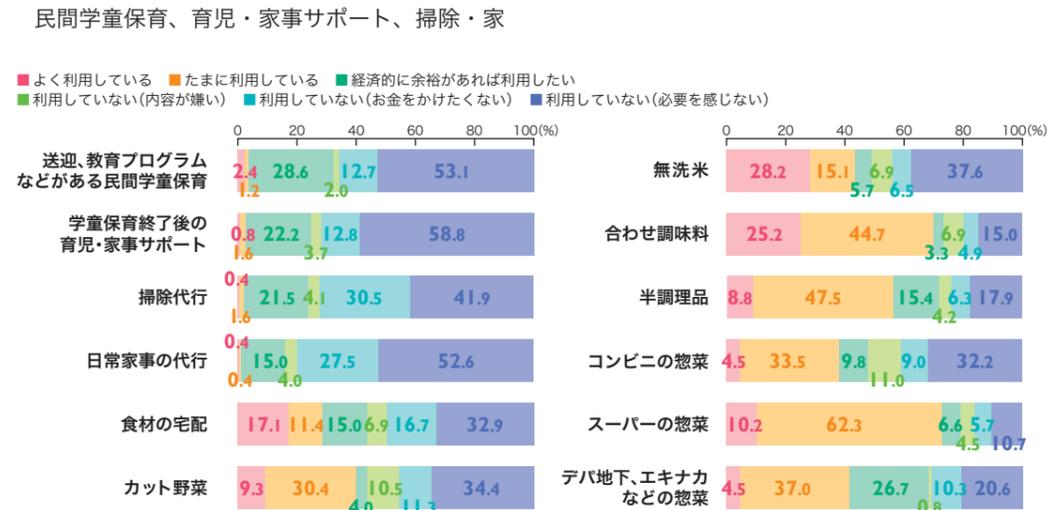
## でも、家事の内容には不満や心配が…

どんな不満や心配があるのかは、左の円グラフのとおり。子供を早く寝かしつけるために効率よく家事をこなすことに追われる中、栄養バランスや夕食メニューのマンネリを気にしている。

また、もっときちんとやりたい家事、もっと時短したい家事、それぞれ上位3つを挙げてもらったところ、きちんとやりたいのも時短したいのも、夕食作り、部屋の掃除。働くママにとっての2大、厄介な家事なようだ。

## 効率重視？子供のためにこだわる？ 市販品利用に揺れ動く、ママの気持ち

限られた時間の中での効率と子供のために思った育児・家事とのバランスを、常に考えているワーキングマザー。効率を重視して市販品やサービスを利用するか、こだわりを持って自らの手でやるか、その分かれ目ポイントは、人それぞれ。周囲のサポート状況、勤務先の制度など環境によっても違って来る。12種類のサービス・商品の利用意向を聞いた。

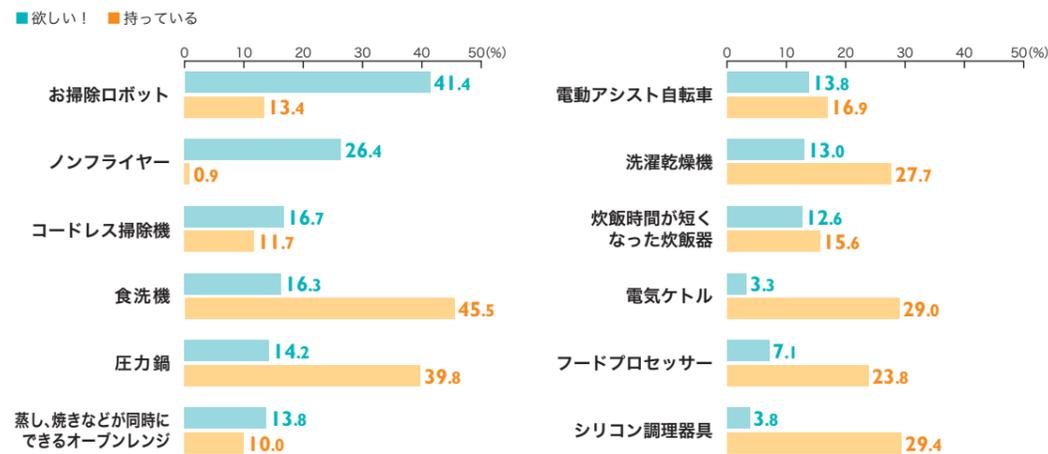


## 時短をアシストしてくれる ワーキングマザーの“3種の神器”とは？

家電製品やグッズで、家事の時短のために使用しているもの、時短のためにこれから欲しいものを聞いたのが下のグラフ。

既に持っていて使用しているものは、食洗機、圧力鍋、シリコン調理器具、電気ケトル、洗濯乾燥機、フードプロセッサーと続く。

これから欲しいものは、お掃除ロボットが圧倒



(複数回答)

あったらいいな！  
こんなサービス

### 食事・料理

・電話、ネット注文で、当日の夕飯を自宅に届けてくれる (44歳 / 神奈川県)

・夕食のメニューで野菜がたくさんとれて、手作り感があるけれど、簡単に作れる一品をアシストしてくれる商品 (45歳 / 東京)

・夕食メニューの提案。いつも何を作るか考えるのに時間がかかるから (36歳 / 千葉)

・下味が染み込みにくい食品が半調理されているもの (54歳 / 東京)

### 家事

・お布団乾燥サービス (45歳 / 兵庫)

・運動靴を洗ってくれるクリーニングがあるといいな。靴はすぐに汚くなるし臭くなるので洗ってやりたいが、とても面倒なので… (51歳 / 東京)

・靴洗い・乾燥代行、布団カバーなど大物洗い・乾燥の代行サービス (41歳 / 東京)

・洗う→乾かす→たたむ→片づける機械があれば、高くても買います・笑 (43歳 / 大阪)

### その他

・学童クラブの質を向上させてほしい。せめて、宿題や勉強の基本的な部分は見てほしい。家に帰ってからやるのでは睡眠不足になる。母親も働いた後の家事など精一杯で、宿題をじっくり見てあげられない (44歳 / 東京)

・民間の学童保育が近くにあれば利用したい。習い事をさせつつ面倒を見てくれるなら、多少お金をかけてもお願いしたい (40歳 / 千葉)

### HOW's View

#### 時短と手抜きに分岐点 納得のいく言い訳も必要

「時短」と「手抜き」の違いを企業はきっちり理解しておく必要がある。「時短」は新しいアイデアや工夫があるもの。工夫せずに怠けて質を落とすのは「手抜き」と感じてしまう。だからママたちにとって、自分なりの工夫ができる余地があるかどうか、納得できる一つの分岐点になっている。

もう一つは、納得のいく言い訳ができるかどうか。生み出した時間で子どもの話をゆっくり聞くとか、家族との絆を深める何かをするとか…。時短の目的までフォローすることが重要だ。